

ユリノキ
の町から

風の便り 74

2024 (令和6) /12/1.
八千代・ゆりのき台 辻 秀幸

花・ご近所編 その1

註：分類は、調べた資料のまま。資料によって相違あり

ゆりのき台で見かけた花の記録。

コノテガシワ (裸子植物 マツ綱 ヒノキ目 ヒノキ科 コノテガシワ属)



風に頼って仲間を増やす戦略に成功した植物。「花」作りのエネルギーを節約できそうな気がする。

私にとっては、その他大勢の植物だった。ムシ探しに気を使うようになってから、遠慮がちに咲く小さな「花」の存在を知った。ムシに注目させるための花とは違った趣がある。



← 雌花序 2023/7/8. 八千代・ゆりのき台5 ↑ 球果

なにをかくそう私はソクラテスぐらい偉いのかも知れない。この偉大な先人が「不知の自覚」ということを述べたということを知る前から、オレはモノを知らないと自覚していたからである。特に植物の名前なんざ自慢シチャウケドまるで知らない。この写真の植物も知らなかったが、名前の由来だという葉の特徵から割と簡単に図鑑で見つけられた。漢字では「児の手拍」と書く。

コスモス (裸子植物 真正双子葉類 キク目 キク科 キク亜科 コスモス属)

四輪駆動車を入手してまず挑戦したのが「養老林道」。房総半島の東京湾側から養老溪谷あたりまで続く。小湊鉄道馬立駅近くから始まる。走り始めてまもなく、コスモスの一叢が見えた。花をつけた長い莖が道の中ほどにまで伸びている。スピードダウンして静かによけて通り過ぎた。免許取り立てで振り返る余裕はなかったが、何輪か散らした



2023/10/18.
「八千代市立富田中学校」

たかも知れない。
山口百恵に「秋桜」という歌があった。タイトルはコスモスと読ませるようだが、国語辞書では「あきざくら」。
俳人の「秋櫻子」は「しゅうおうし」。

コスモスを離れし蝶に谿深し 水原秋櫻子

バラ (被子植物 真正双子葉類 バラ類 マメ類 バラ目 バラ科 バラ属)



← 2023/8/8.
→ 2024/7/15.
八千代・
ゆりのき台5.

虫の力をかり
る作戦の植物。
「花」は様々な



形、色が現れた。結果として人間に目をつけられると、本来の役目とは関係なくいじくりまわされる。人間に大切に扱われること、というも遺伝子に組み込まれているのだろうか。その一つであろう小型のバラを咲かせるお宅が近所にある。バラを無事に育てるのは手間がかかる聞いた。このお宅の植込みは、さりげなくそしてほどよく手入れされている。今年も小さなバラが、私ばかりでなく、通りかかる人たちに今日も佳い日だという気分させてくれる。

一輪咲いた小さなバラで、寂しかった庭も心も明るくなったと、マイク眞木が歌った。この歌も山口百恵の「秋桜」も作詞家ってすごいなあと思わせてくれる。

サクラ (被子植物門 双子葉植物綱 バラ亜綱 バラ目 バラ科 サクラ亜科 サクラ属)

桜は見上げるものと承知している。近ごろはドローンが上から見せてくれる。

下左の写真は八千代中央駅に隣接する緑地の桜で、目の高さで見ることが出来て、私には新鮮であった。サクラは、ワッと咲いてサツと散ってその後の枝も地の花びらも見苦しくなくて好ましい。しかしウッスラポーっとしか写せないのでカメラは向けない。

名前調べは、本屋で開いた本で種類の多さと、そのどれも同じに見えるのでとうの昔にあきらめた。そういうわけで、淡いピンクならソメイヨシノ、下右写真のように白いのはオオシマザクラ、そのほかのはどれも「サクラ」と呼ぶことにしている。

2024/4/6. 八千代・「富田第1緑地」

2024/4/12. 「八千代郵便局」



武内 清様

風の便り 74 号をお送りします。花シリーズです。

紅葉狩りを満喫したとか。お話しと写真を楽しませていただきました。

生成 AI の回答の分析のお話、興味深く拝読しました。今は創造できる段階ではないということですが、ひと手間加えると、あさってのものと組み合わせて突拍子もない発想をする仕組みにできるのでしょうか。そうなるとう独立心、反抗心が芽生えて、命令ばかりする人間に謀叛を企てるようになるのかなあ、などと妄想します。

11 月分の編集を終えて、さあ新春特別号の仕上げだ、と張り切って日々を過ごしていて、いやまて 1 月の前に 12 月があったのだと気づきました。

日にちや曜日にはほとんど無関係に暮らし、先々の分のお便りの編集をしているせいか、今日が何月の何日で何曜日なのか入り乱れて分からなくなっています。

来月になると西暦も令和も両方数字が変わります。今年の数値をどうやら覚えられたというのにまた変わるのでは頭の中はしっちゃかめっちゃか。ずーっと同じだと楽なのだと思います。

新聞のコラムでフラット・アサーズという言葉を知りました。見た目重視の人々のことだそうで、そういえば私も、地球がボールのように丸くて、猛烈なスピードで回転しているということが信じられません。どう見たって動いているのは太陽の方だし、月の方です。海の向こうの新しいトップに選ばれたお方も私（フラット・アサーズ）のご同類なのかな、何かあったらなんと言われようと自分第一なのも似ているし、なんて思ったりしちゃって、年取るとなんでも愉快地思えてきて、新年も期待でわくわく。

ではまた
令和 6 年 11 月 30 日

辻 秀章



2024/11/9.

パリ五輪のメダリストで八千代市に縁の深い 2 選手の祝賀パレードがありました。ろくでもないスナップしか撮れませんでした、こんなカンジでした、ということでご寛容に。

この場所では勝田台中学校のブラバンが往復の通過に合わせて慎ましく（騒音苦情対策）雰囲気盛り上げ演奏。お役目終了で、周りから拍手とお褒めの言葉。指揮の先生（生徒の間の白い背中）も演奏の生徒もにっこり。うれしそうでした。

場所は八千代中央駅前の交差点。信号柱の脇の小さい白い背中 2 人がメダリスト（柔道女子 48kg

級金・角田夏実つのだなつみ、スポーツクライミング複合銀・安楽宙斗あんらくそらと）。おらが町の英雄です。世界 1、2 位がいるんだぜい！ 無料の見世物にはこんなに人が群れるんだぜい！ バスもコンビニもあるんだぜい！ ご当地アイドルグループだって目下アイドルトークや仕草を特訓中だぜい！（デビューを果たせるのか心もとないんだぜい）